

# 災害時の 食支援

～東日本大震災からの学び～

このDVDは、東日本大震災において、行政、病院、学校給食、管理栄養士養成施設、災害支援管理栄養士・栄養士がどのような食支援を行なったのか、また、被災者の生命と健康を支える食支援を効果的に進めるためには、関係者がどのような機能と役割を担うべきかといった課題をまとめたものです。被災地で活動した管理栄養士や医師の貴重な報告が収録されており、被災経験や被災者支援の経験がなくても、災害時の食の問題を、臨場感をもって理解していただける内容になっています。出演者はいずれも全国各地で講演をしている第一人者であり、DVDにより、多くの方々に第一線で活躍した方々のお話を聴いていただけるようにしました。管理栄養士・栄養士養成施設の授業で、自治体や専門職の現任研修会でご活用ください。

また、他職種の方に、災害時の食支援の重要性や難しさを知っていただく一助になれば幸いです。

## 作品内容（全 83 分59秒）

### Chapter I

#### 災害時の健康・栄養問題（12分32秒）

##### Section I-1 避難所での健康・栄養問題の概要

調査結果をもとに、  
医師である国立保健医療科学院の金谷泰宏部長が解説。

##### Section I-2 避難所における栄養の参照量

平成23年4月と6月に厚生労働省が発表した「避難所における栄養の参照量」や関連情報である「食品構成具体例」等を、他職種や学生にもわかりやすく国立健康・栄養研究所の笠岡（坪山）宣代室長が解説。

### Chapter II

#### 行政の仕組みと対応（17分49秒）

##### Section II-1 災害関連法規と災害時における市町村・保健所・都道府県の役割

被災者支援に必要な関連法規や行政の仕組みについて、  
国立保健医療科学院の金谷泰宏部長が解説。

##### Section II-2 被災者の生命と健康をまもる 栄養・食生活支援体制

岩手県一関保健所の澤口真規子管理栄養士が、  
食に焦点を当てた行政の対応を解説。

### Chapter III

#### 災害時の病院給食（10分10秒）

病院は災害がおこっても、電気・ガス・水道がとまっても、入院患者がいる限り、給食を提供しつづけなければならない。加えて、患者数は平常時よりも増え続け、それに対応する病院スタッフの食事も必要になる。実際の病院の現場では何が起こり、どのように対応したのか。石巻医療圏で唯一機能した災害拠点病院である石巻赤十字病院の佐伯千春栄養課長による経験談。

### Chapter IV

#### 災害時の学校給食（9分53秒）

福島県南相馬市では、原発事故の影響により、多くの住民が県外へ避難した。風評被害により、物流のトラックも途中で引き返し、食材が届かなかった。人とモノが不足するなか、残っている子どもたちのために、調理員と協力し、工夫を重ねて給食を提供した、市教育委員会の鈴木美智代主任栄養士の経験談。

### Chapter V

#### 管理栄養士養成施設によるボランティア活動と 多機関協働による仮設住宅における食支援（14分33秒）

病院スタッフや子どもたちに食事や弁当を作って届ける学生のボランティア活動と、大学・住民ボランティア・町役場・企業が連携して実施している亘理町仮設住宅での料理教室について取材。  
宮城学院女子大学の平本福子教授をはじめ、管理栄養士養成課程の学生、大学院生、亘理町食生活改善推進員協議会会長、亘理町栄養士が出演。

**Section VI- 1** 東日本大震災で日本栄養士会は何をしたか

世界の栄養士会で初めて、被災地に管理栄養士・栄養士を派遣した経験と、そこで明らかになった課題を、日本栄養士会の迫和子専務理事が解説。

**Section VI- 2** 日本栄養士会災害支援チーム  
(JDA-DAT) の立ち上げ

JDA-DAT とは何か、研修や養成の現状と目標を、  
日本栄養士会の下浦佳之常務理事が解説。

**Section VI- 3** 日本栄養士会から派遣された  
災害支援管理栄養士の活動

被災地に派遣された管理栄養士・栄養士はどのような活動をする  
ことになるのか、求められるスキルや心構えについて、深澤幸子管理  
栄養士の経験談と助言。

制作：岩波映像株式会社

監修：須藤紀子（お茶の水女子大学大学院准教授）

笠岡（坪山）宜代（独立行政法人 国立健康・栄養研究所室長）

金谷泰宏（国立保健医療科学院部長）

企画協力：網谷有希子（お茶の水女子大学大学院ライフサイエンス専攻）